



第38回(平成26年度) 久留米市民意識調査 報告書《速報版》

 水と緑の人間都市・久留米

I 調査のあらまし

(1) 目的

市民意識調査は、今後の市政運営の基礎資料を得るために毎年実施しているものです。

今回の意識調査は、①行政施策 ②食育・地産地消 ③環境 ④中心市街地 ⑤住宅 ⑥インターネット ⑦安全・安心のまちづくり という7つのテーマについて実施しました。

①行政施策 久留米市が取り組む33項目の施策についての満足度、久留米市への愛着度、住みやすさ、市の状況をどう感じるかなどについて調査し、久留米市新総合計画に掲げる施策の目指す成果の達成状況を把握する基礎資料として活用します。

②食育・地産地消 食育や地産地消への意識を調査するとともに、農業の持つ多面的機能についての認知度を把握し、次期食料・農業・農村基本計画の策定や次期食育推進プランの策定の基礎資料として活用します。

③環境 周辺環境に対する市民の皆さんの満足度、環境問題に対する意識や取り組みの程度、力を入れてほしい施策などについて調査し、環境基本計画の一部見直しの基礎資料として活用します。

④中心市街地 中心市街地への来街について、来街する際の頻度、目的、移動手段を調査し、今後の中心市街地活性化に向けた基礎資料として活用します。

⑤住宅 街なか居住の意向、高齢期に求められる住環境や住宅施策を調査し、住生活基本計画の見直しや後期計画策定の基礎資料として活用します。

⑥インターネット インターネット利用や久留米市ホームページの閲覧状況、インターネットを通じて入手したい行政情報、ICT(情報通信技術)を活用したより利便性の高い行政サービスへの要望などを調査し、次期ICT情報化推進計画(仮称)策定の基礎資料として活用します。

⑦安全・安心のまちづくり けがや事故、犯罪、災害への不安、災害への備え、セーフコミュニティの認知度などを調査し、安全・安心のまちづくり推進の基礎資料として活用します。

(2) 調査方法

- | | |
|------------|---|
| ○ 調査地域 | 久留米市全域 |
| ○ 調査対象者 | 久留米市に在住する満20歳以上の人 |
| ○ サンプル数 | 2,000 |
| ○ 抽出方法 | 住民基本台帳からの二段無作為抽出法 |
| ○ 実査方法 | 調査票を郵送し、調査員が訪問回収を行う郵送法併用の留置法 (調査票は封筒に封入したものを回収) |
| ○ 実査期間 | 平成26年7月24日～8月5日 |
| ○ 回収数(率) | 1,711票(85.6%) |
| ○ 調査の企画と実施 | 企画 久留米市 協働推進部 広聴・相談課 実施 西日本新聞社 お客さまセンター 調査・マーケティンググループ |

II 主な調査結果

1. 行政施策

(1) 施策の満足度

◆「健康づくり対策」の満足度が4位に上昇した。

問 久留米市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、次の市の取り組みについておたずねします。
あなたは、この取り組みにどの程度満足していますか。
それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

■満足度の得点化の手順■

| 満足度 | 得点 |
|-------------------|-------------------|
| 1. 満足 | 6点 |
| 2. やや満足 | 4点 |
| 3. やや不満 | 2点 |
| 4. 不満 | 0点 |
| 5. わからない (無回答) | 欠損値 (得点計算の対象外) |

33項目の行政施策に対する評価を得点化し、分析を行っています。

$$\text{満足度得点} = \frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4の回答者数})}$$

※例えば、仮に全員が「2. やや満足」を選んだ場合、その施策の満足度得点は4点となります。

■満足度が高い10の取り組み■

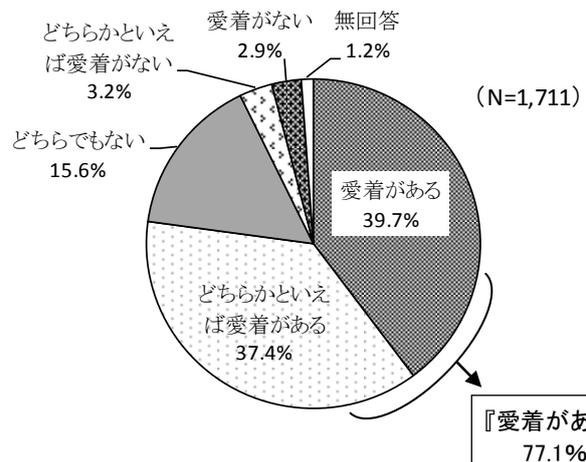
| 順位 | 項目 | 昨年順位 | 2 | 3 | 4 | 5(得点) |
|-----|--------------------|------|-------|---|---|-------|
| 1位 | 四季のイベントの振興 | 1位 | [Bar] | | | 4.60 |
| 2位 | 地域医療体制の充実 | 2位 | [Bar] | | | 4.36 |
| 3位 | 消防・救急救命対策 | 3位 | [Bar] | | | 4.15 |
| 4位 | 健康づくり対策 | 6位 | [Bar] | | | 3.94 |
| 5位 | 生活排水処理の整備 | 4位 | [Bar] | | | 3.84 |
| 6位 | ごみ処理対策 | 5位 | [Bar] | | | 3.80 |
| 7位 | 文化芸術活動の支援・充実 | 7位 | [Bar] | | | 3.75 |
| 8位 | 市民自らが進めるまちづくり活動の振興 | 9位 | [Bar] | | | 3.68 |
| 9位 | 環境美化対策 | 8位 | [Bar] | | | 3.67 |
| 10位 | 水辺空間の整備 | 11位 | [Bar] | | | 3.61 |

(全体平均：3.31)

(2) 久留米市への愛着

◆8割近くの人が久留米市に愛着を持っている。

問 あなたは、久留米市に愛着がありますか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

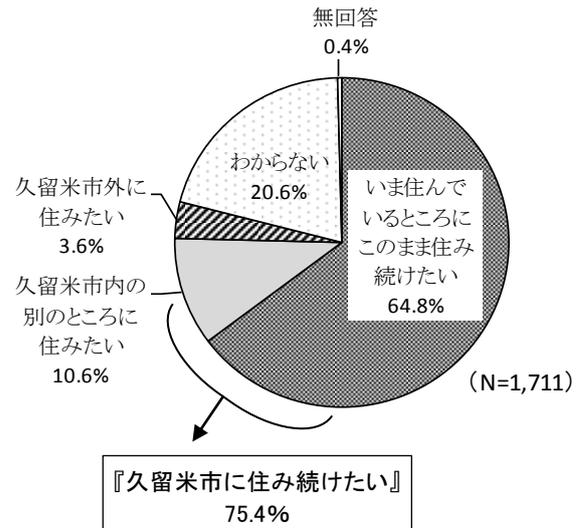
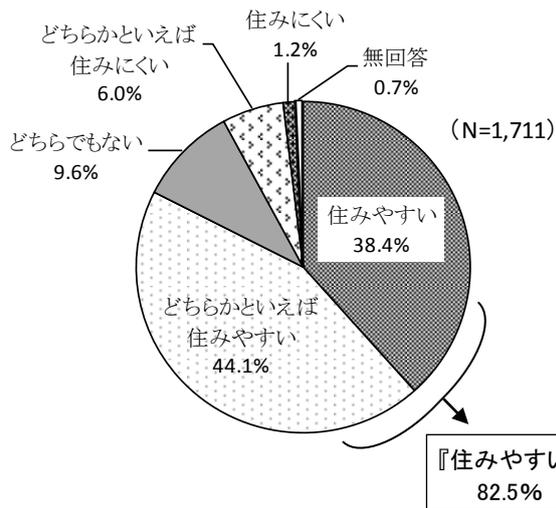


(3) 久留米市の住みやすさ、定住意向

◆約8割の人が久留米市は住みやすいと感じ、7割を超える人が久留米市内に住み続けたいと思っている。

問 あなたは、久留米市は住みやすいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

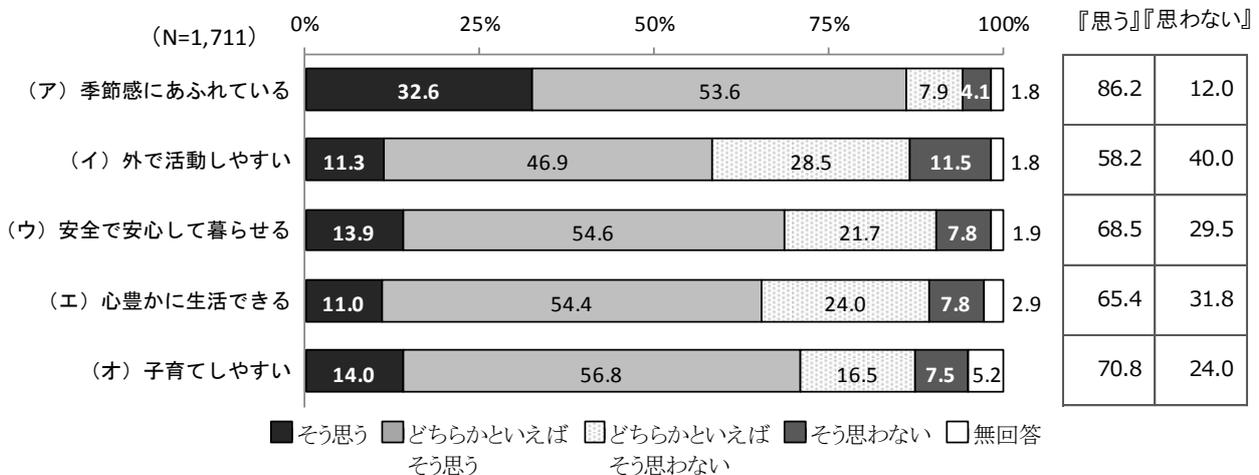
F あなたは、今後も久留米市に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



(4) 久留米市の状況

◆久留米市は「季節感にあふれている」86.2%と「子育てしやすい」70.8%で高い評価。

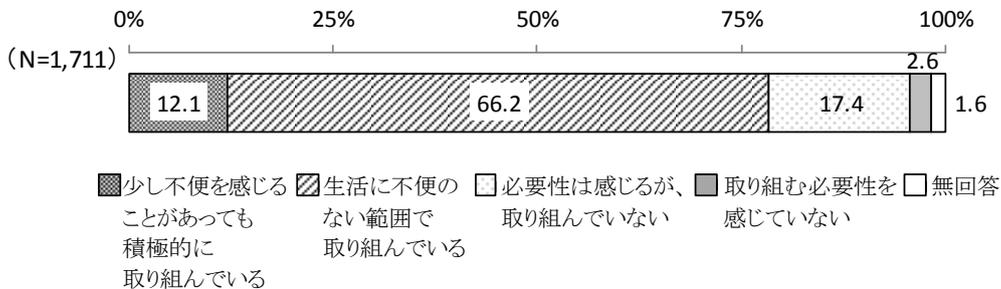
問 久留米市の状況として、次の(ア)～(オ)の事柄について、あなたはどのように思われますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)



（5）環境に配慮した取り組み

◆生活の中で環境に配慮した取り組みをしている人は 78.3%。

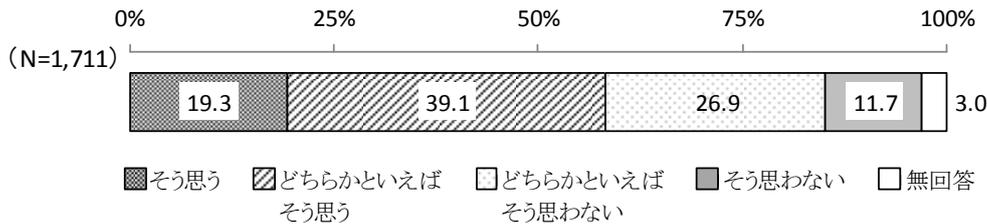
問 あなたは、普段の生活の中で、環境に配慮した取り組みをしていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



（6）人権問題の解決に向けて

◆約 6 割の人が自分自身の人権感覚を高めたいと思っている。

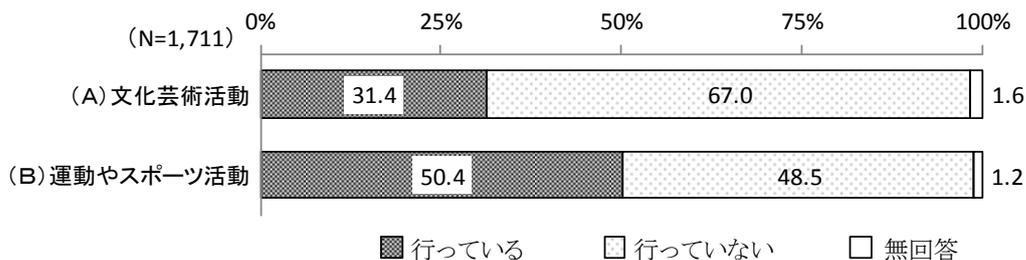
問 あなたは、同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて、自分自身の人権に対する感覚を高めたいと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



（7）文化芸術活動、運動やスポーツ活動の状況

◆普段の生活の中で約 3 割の人が文化芸術活動を、5 割の人が運動やスポーツ活動を行っている。

問（A）あなたは、文化芸術活動（美術、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能などを自分自身で行う、あるいは鑑賞する）を行っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）
 （B）あなたは、運動（軽く体を動かすものを含む）やスポーツ活動（自分自身で行う、あるいは観賞、観戦する）を行っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

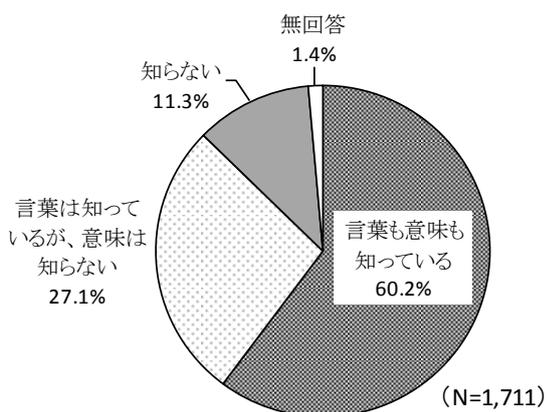


2. 食育・地産地消

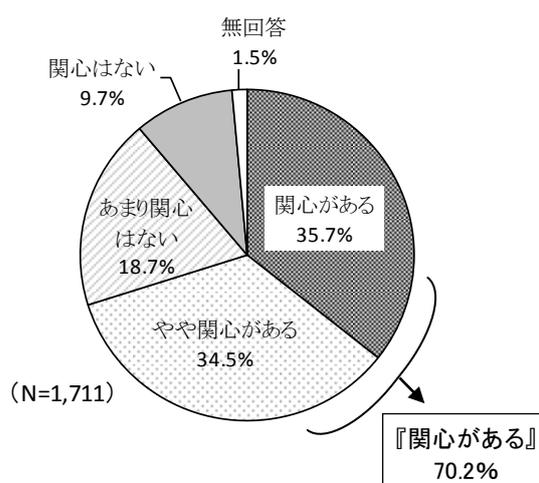
(1) 「食育」の認知と関心

◆「食育」について、約6割の人は言葉も意味も知っており、約7割の人は関心がある。

問 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



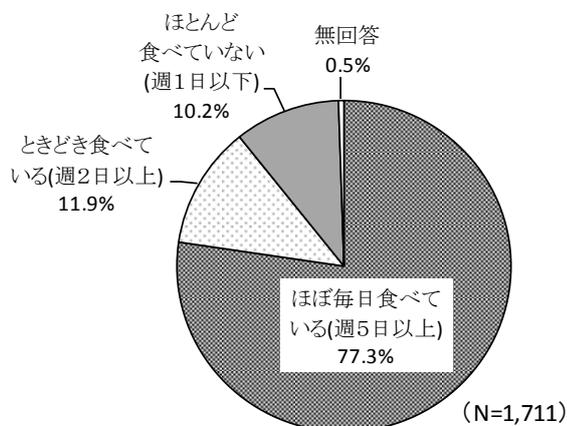
問 あなたは、「食育」に関心がありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



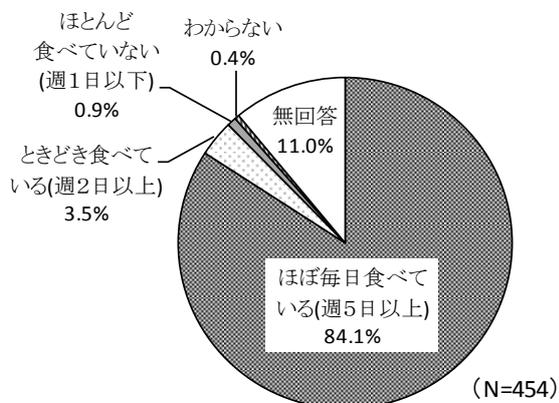
(2) 朝食の摂取状況

◆朝食をほぼ毎日とっている人は77.3%、子どもでは84.1%。

問 あなたは、朝食をとっていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



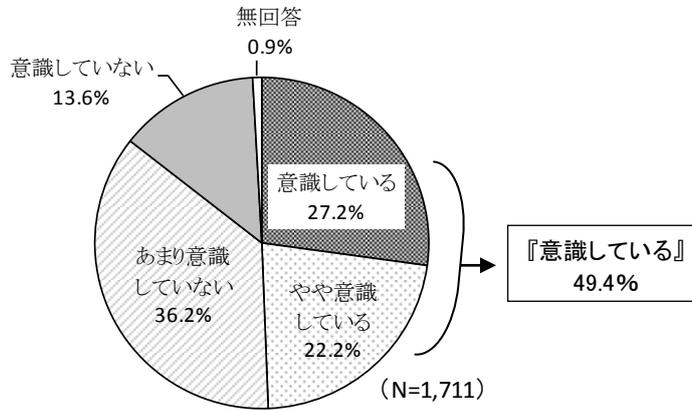
【中学生以下のお子さんのいる家庭におたずねします】
問 お子さんは、朝食をとっていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



（3）地産地消に対する意識

◆久留米産の農産物を日常的に食べるように意識している人は約5割。

問 あなたは、日常の食生活で、久留米産の農産物を食べるように意識していますか。
（あてはまる番号に1つだけ○印）

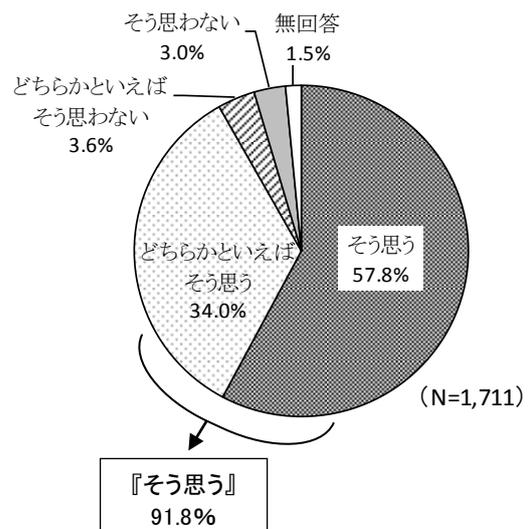
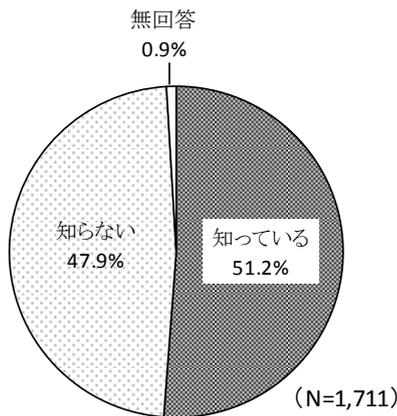


（4）田んぼや畑の多面的機能

◆9割を超える人が田畑の多面的機能を維持・保全する取り組みを重要だと感じている。

問 田んぼや畑には、洪水を防止する、暑さをやわらげる、多くの生物を育むなどの多面的機能※があることを知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

問 久留米市が、これらの多面的機能を維持・保全するための政策に取り組むことは重要だと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



※「多面的機能」とは…

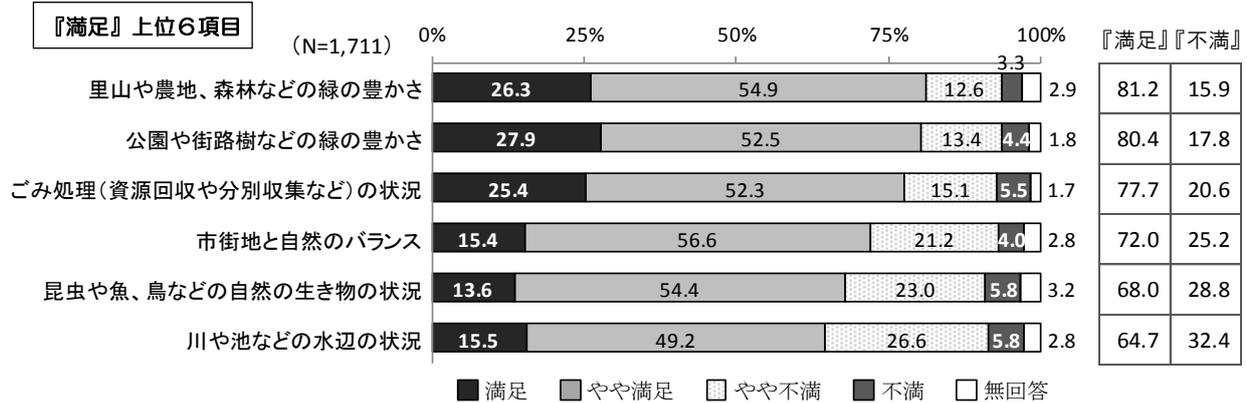
農業や農村地域は農作物を生産する役割だけではなく、私たちの生活に様々な『めぐみ』をもたらしています。水田は雨水を貯蔵し、洪水や土砂崩れを防止したり、多くの生物を育みます。また、美しい農村地域の景観は私たちの心を和ませてくれます。これらの役割を農業・農村の持つ多面的機能といいます。

3. 環境

(1) 周辺環境の満足度

◆満足度が高い項目は「緑の豊かさ」「ごみ処理状況」。

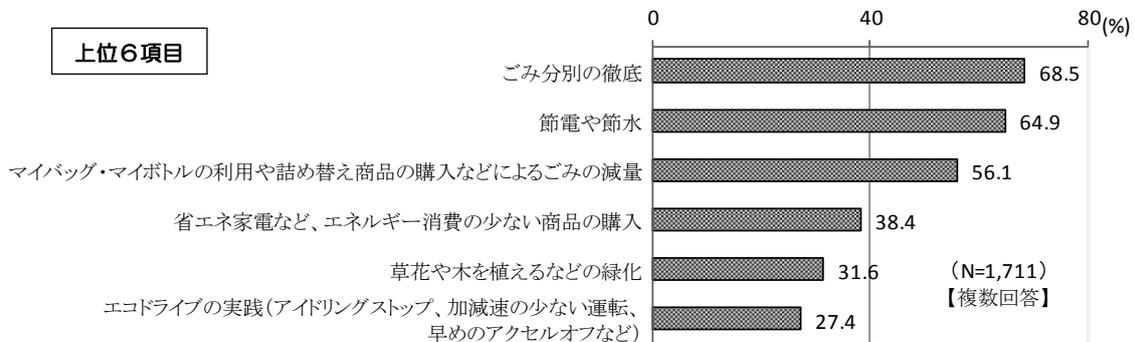
問 あなたがお住まいになっている周りの環境で、次の事柄について、現在どのくらい満足していますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)



(2) 日常生活で実践していること

◆「ごみ分別」「節電・節水」「ごみ減量」は半数以上が実践している。

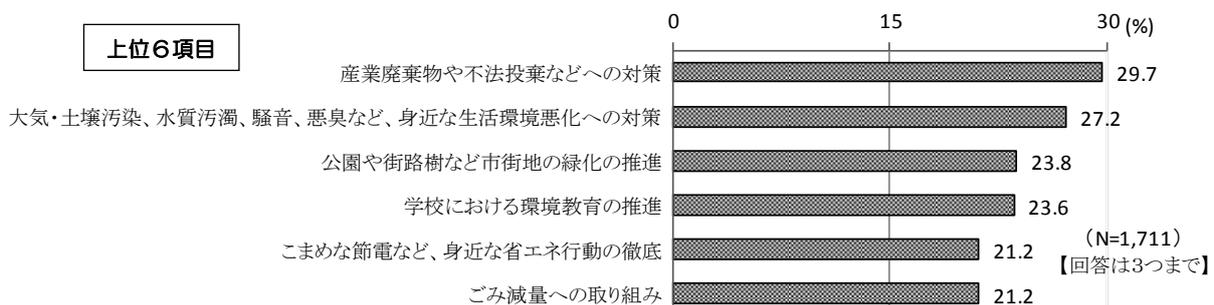
問 あなたは環境を守るために、日常生活でどのようなことを実践していますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



(3) 環境を守るための施策

◆「産廃や不法投棄対策」への要望が約3割で最も高い。

問 あなたは、環境を守るために、久留米市はどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(あてはまる番号に3つまで○印)



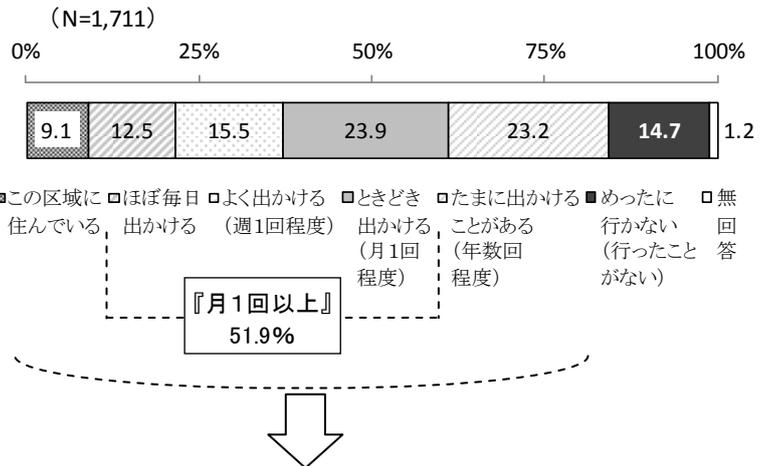
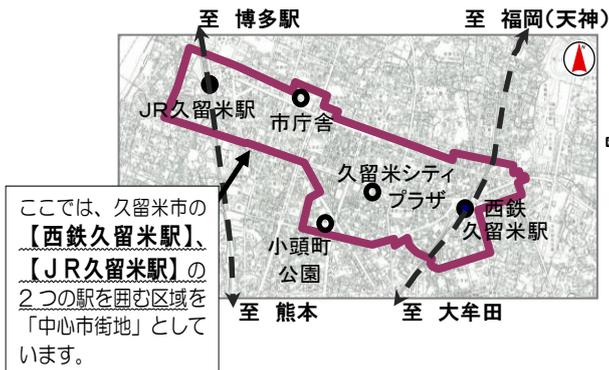
4. 中心市街地

(1) 中心市街地への来街頻度と目的、交通手段

◆中心市街地に『月1回以上出かける』人は約5割。

問 あなたは、どれくらいの頻度で「中心市街地」に来ることがありますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

◆中心市街地地図

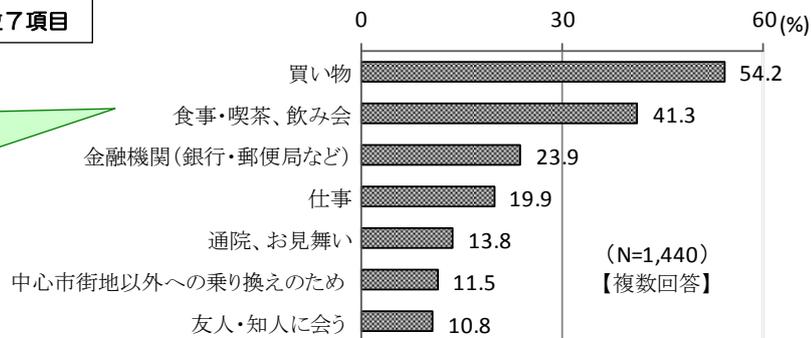


★「この区域に住んでいる」「月1回以上出かける」「たまに出かけることがある」と回答した人に

付問 「中心市街地」へ来る主な目的は何ですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

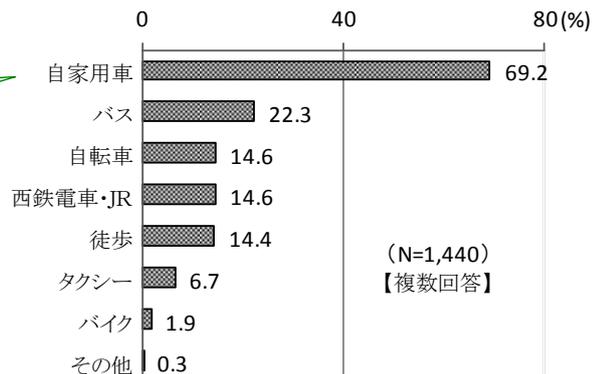
「買い物」と「食事・喫茶、飲み会」が平成 24 年度調査と同じく上位。

上位7項目



付問 「中心市街地」へ来る際の交通手段は主に何を利用しますか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

「自家用車」が、平成 24 年度調査と同じく約7割。

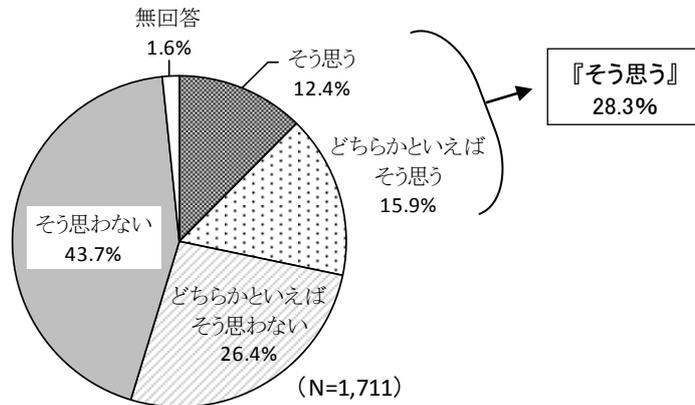


5. 住宅

(1) 街なか居住

◆街なかに住みたいと思っている人は約3割。

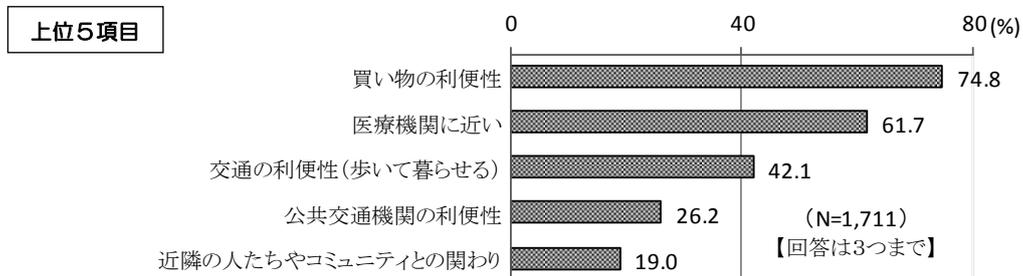
問 あなたは、街なか(中心市街地)に住みたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



(2) 高齢期の住環境

◆「買い物の利便性」や「医療機関の近さ」が必要とされている。

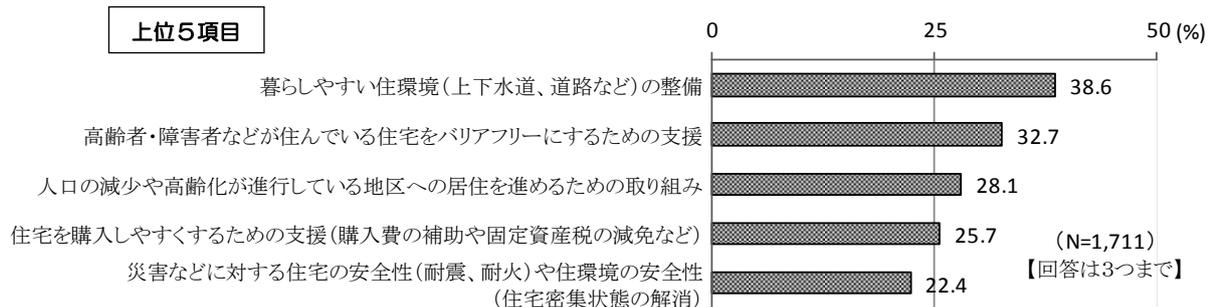
問 あなたが高齢期になったときに、住まいの環境として必要な要素は何ですか。(あてはまる番号に3つまで○印)



(3) 住宅の重点施策

◆「暮らしやすい住環境の整備」への要望が約4割で最も高い。

問 今後どのような住宅施策を重点的に進める必要があると思いますか。(あてはまる番号に3つまで○印)

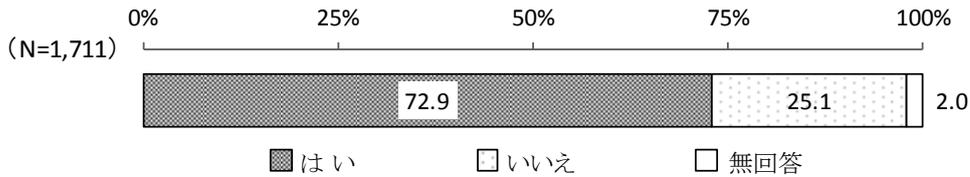


6. インターネット

(1) 利用状況

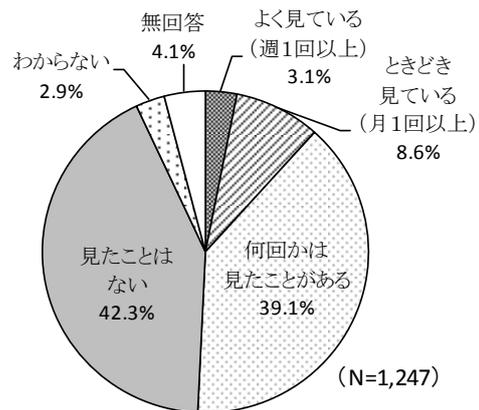
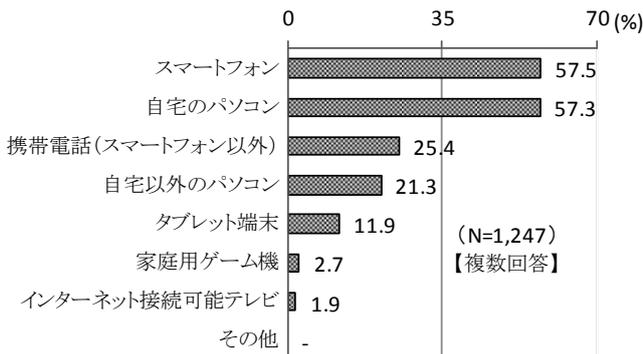
◆インターネットの利用率は 72.9%、スマートフォンと自宅のパソコンが 6 割弱でならば利用が多い。

問 あなたは、この 1 年間にインターネット（携帯電話によるメールの送受信を含む）を利用したことがありますか。



付問 あなたはふだん、どんな端末を使ってインターネットを利用していますか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

付問 あなたは、久留米市のホームページを見たことがありますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

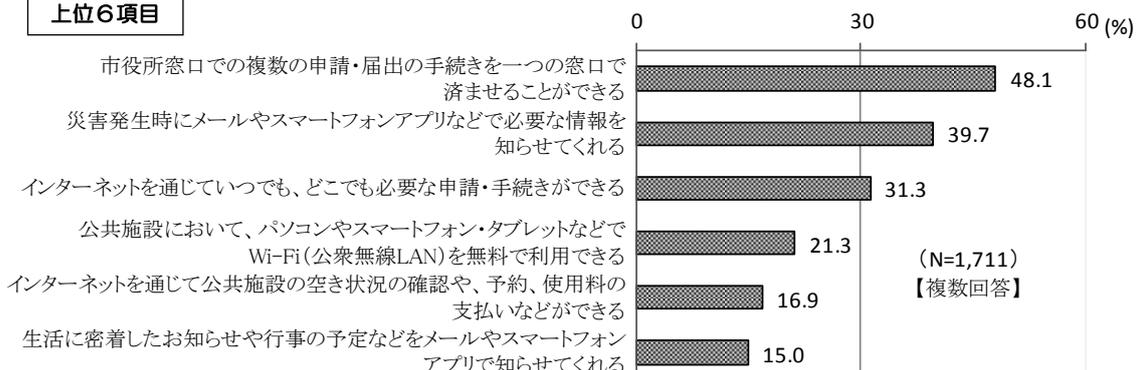


(2) ICTを活用した行政サービス

◆「市役所窓口での手続きの一本化」「災害発生時の情報発信」への期待が上位。

問 久留米市では現在 ICT（情報通信技術）を活用し、より利便性を高める取り組みを進めています。次にあげるような ICT を活用した行政サービスのうち、あなたが特に期待したいものはどのようなことですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

上位6項目

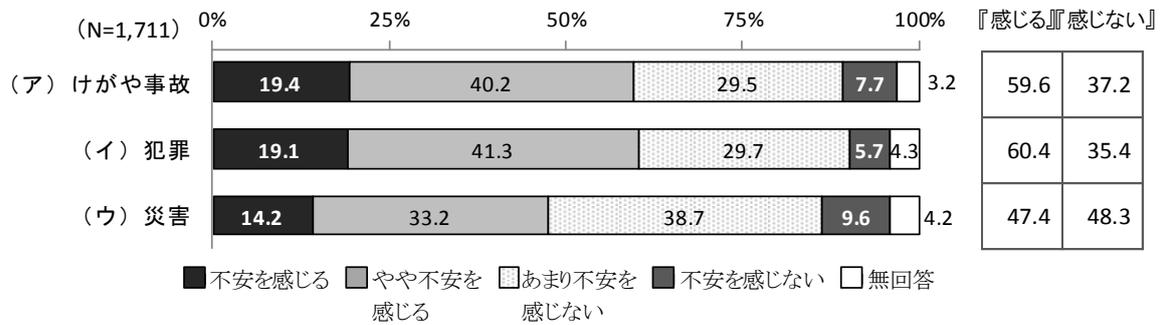


7. 安全・安心のまちづくり

(1) 不安感

◆「けがや事故」と「犯罪」への不安を感じる人がそれぞれ約6割。

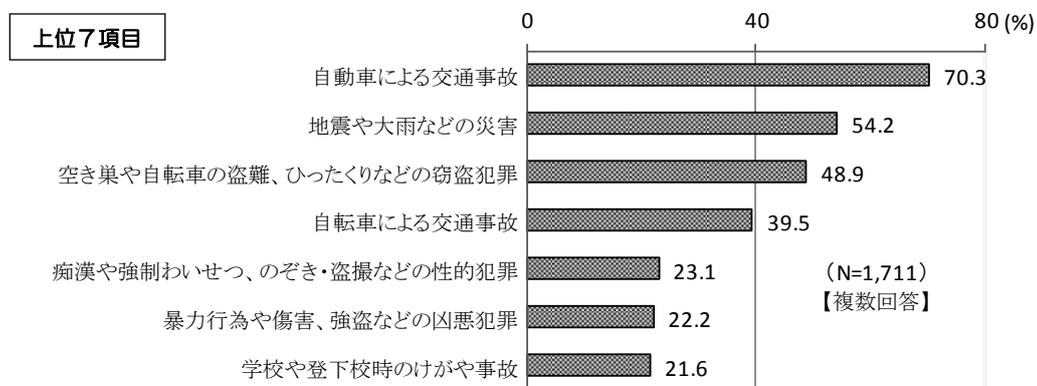
問 あなたは、お住まいの地域で、けがや事故、犯罪、災害にあうかもしれない不安を感じますか。(あてはまる番号に1つずつ〇印)



(2) 不安を感じるもの

◆「自動車による交通事故」への不安を感じる人が約7割。

問 あなたやあなたのご家族がふだん生活する中で、不安を感じることは何ですか。(あてはまる番号にいくつでも〇印)



(3) 水や食料の備蓄

◆3日以上の備蓄をしている人は「水」11.3%、「食料」15.7%。何もしていない人が5割前後。

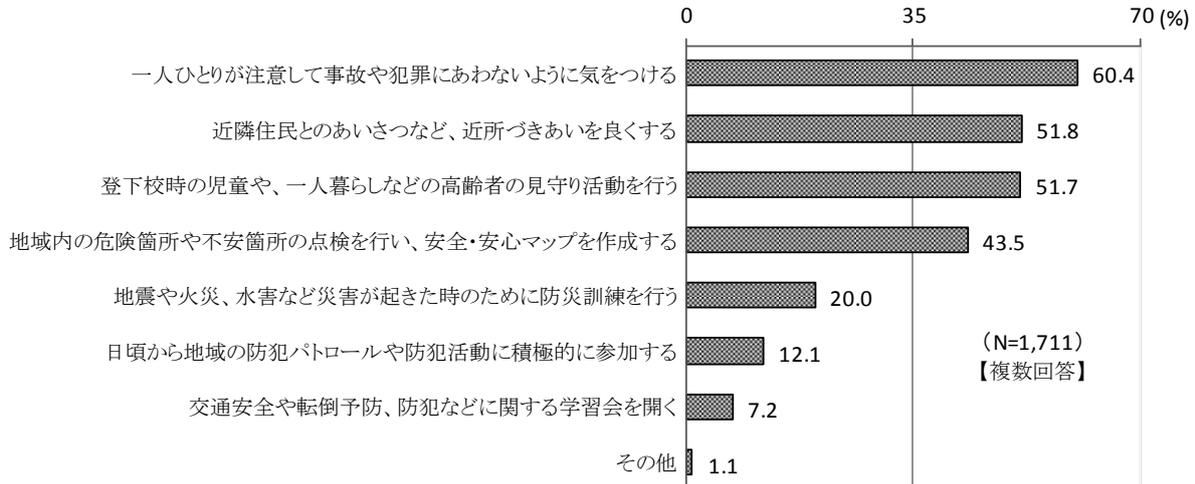
問 地震や災害などの災害時に電気・水道・ガスなどがストップした場合に備えて、あなたのご家庭では水や食料をどの程度備蓄していますか。(あてはまる番号に1つずつ〇印)



（5）個人や地域での取り組み

◆「一人ひとりが気をつける」「近所づきあいを良くする」「見守り活動を行う」が5割を超えて上位。

問 あなたは、けがや事故、犯罪などを防ぐために、個人や地域で特にどのような取り組みや対策を行うことが必要だと思いますか。（あてはまる番号にいくつでも○印）



●ブロック別サンプル構成

| ブロック別 | 配布数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|---------|-------|-------|-------|
| 東 部 | 270 | 231 | 85.6% |
| 北 部 | 310 | 263 | 84.8% |
| 中 央 東 部 | 250 | 210 | 84.0% |
| 南 東 部 | 200 | 176 | 88.0% |
| 中 央 部 | 270 | 229 | 84.8% |
| 中 央 南 部 | 340 | 293 | 86.2% |
| 南 西 部 | 170 | 145 | 85.3% |
| 西 部 | 190 | 164 | 86.3% |
| 合 計 | 2,000 | 1,711 | 85.6% |

●調査対象者の構成

| N=1,711 | | 回収数 (票) | 比率 (%) |
|---------|-------|---------|--------|
| 性別 | 男性 | 786 | 45.9 |
| | 女性 | 925 | 54.1 |
| 年齢 | 20歳代 | 202 | 11.8 |
| | 30歳代 | 280 | 16.4 |
| | 40歳代 | 324 | 18.9 |
| | 50歳代 | 300 | 17.5 |
| | 60歳代 | 394 | 23.0 |
| | 70歳以上 | 211 | 12.3 |

●ブロック別校区名

| ブロック | 校 区 |
|------|--------------------------------------|
| 東 部 | 山川、山本、草野、善導寺、大橋、船越水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸 |
| 北 部 | 小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城金島 |
| 中央東部 | 西国分、東国分、御井 |
| 南東部 | 上津、高良内、青峰 |
| 中央部 | 荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石 |
| 中央南部 | 鳥飼、金丸、南、津福 |
| 南西部 | 荒木、大善寺、安武 |
| 西 部 | 城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚三瀧、西牟田 |

第 38 回（平成 26 年度）
久留米市民意識調査報告書〈速報版〉
平成 26 年 11 月

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課
久留米市城南町 1 5 番地 3
TEL. 0942-30-9015
FAX. 0942-30-9711
E-Mail. sodan@city.kurume.fukuoka.jp